

教職員研究チーム活動状況報告書

| | | |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 代表者の所属・職・氏名 | 香美町立兔塚小学校 主幹教諭 坂本 和宏 | 研究チーム名 (パワーアップ研究会) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|

研究テーマ分類番号 (17)

| | |
|---|--|
| (1)研究テーマ | |
| 子どもが興味・関心を持って取り組むことのできる教材開発能力及び活動を組織・運営できるマネジメント能力の育成 | |
| (2)研究経過及び具体的な取組 | |
| 6月 4日(月) | 理論研究 ・実施場所：香美町立兔塚小学校 ・参加人数：グループ内6名 その他10名 ・内容：学級活動、児童会活動を通じた異年齢活動の在り方について |
| 8月 6日(月) | 実技研修 ・実施場所：香美町立兔塚小学校 ・参加人数：グループ内8名 その他30名 ・講師：フィットネスインストラクター ・内容：「子どもが意欲的に取り組む表現運動を」をテーマに研修する。 ・概要：「MONSTER」という曲を題材にして、ステップや手の動き等、振り付けの基本を学んだ。 |
| 9月21日(金) | 実践交流 ・実施場所：香美町立兔塚小学校 ・参加人数：グループ内6名 その他10名 ・内容：異年齢活動の取組について実践交流を行う。 |
| 10月25日(木) | 理論研修 ・実施場所：香美町立兔塚小学校 ・参加人数：グループ内8名 その他10名 ・講師：大阪教育大学教授 ・内容：「児童が主体的に探求するための方法」をテーマに研修する。 ・概要：「総合的な学習の時間」を見直し、児童が探求的になるために何が必要なのか、さらには教科と「総合的な学習の時間」との関連について学んだ。 |
| 11月 | 中間まとめ 文書による交流 ・成果と課題： 実技研修を通して、子どもがやる気をもって取り組むための教材開発の在り方について理解を深めることができた。夏季休業中に実施した実技研修は、その後の各校での運動会等で生かすことができた。子どもを主体とした取組は多様であり、様々な方向から実践できるが、異学年交流の要素を取り入れると、より効果的な取組となることが分かった。今後も、多様なアイデアを出し合いながら、子どもたちの意欲的な学びを支援する方法を模索していきたい。 |